

# 日本倶楽部会報

平成 30 年 4 月 第 16 号

## ～ 会員作品展開催される ～

恒例の会員作品展が今年も 3 月 1 日（木）から 3 日（土）まで大会議室にて開催されました。

書 17 点、日本画 15 点、洋画 13 点、陶芸写真等 11 点と出展数 56 点は昨年より若干少なめでしたが、約 160 名の方が来場され好評をいただきました。

書を出展されたある会員は「少し曲がったところがあるがそれも味わい」と納得の自己評価をされておられました。写真を出展された会員からは作品を仕上げる過程をお伺いし込められた工夫と技には感心しました。どの作品からも出展者の熱い意気込みが伝わる素晴らしい力作揃いでした。

来年も多数の傑作の出展を期待しております。



## ～ 小唄発表会開催される ～

作品展の中日にあたる 3 月 2 日午後 3 時から小唄発表会が開催されました。

小唄部会にとっての作品発表という趣旨で今年が第 10 回となりました。本木寿以師、本木寿以和師お二人の師匠の三味線でお祝儀曲「白扇」を皮切りに女性部員 2 名を交えた小唄部会員 11 名が各々 2 曲づつ唄を披露しました。会場の食堂はほぼ満席で司会役の魚部皓会員の懇切な曲目解説も大変好評でした。念願の難曲を唄い切り万感の思いの部会員など小唄部会員には各々の唄の余韻に浸る至福のひと時でした。

小唄部会は 2000 年に発足、月例会は先月で 200 回を迎えております。全くの小唄初心者も入部して楽しんでおりますので、経験を問わず小唄に関心のある方の入部をお待ちしております。



お祝儀曲「白扇」披露の様子



司会役：魚部皓

## ～ 懇親会も引き続き盛況裡に ～

作品展の 2 日目、3 月 2 日午後 5 時から皇居を見おろす絶景のロビーにて懇親パーティーが開催されました。

まず石原信雄会長の会員の豊かな趣味を讃える開会のご挨拶。続いて中田一男副会長が乾杯の音頭をとられ、今年が当倶楽部の創立 120 周年に当たり記念祝賀パーティーを初め様々な記念行事を準備されていることをご紹介されました。

ゲストを含めて 70 名以上の方がパーティーに出席され会場のロビーに溢れるほどで、此所彼所で出展者との作品談義や趣味論議など、美味しい料理とお酒に時間を忘れての歓談で盛り上がりました。

（集会委員 陶浪隆生）



石原信雄会長

